

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	奥村泰之 (おくむら やすゆき)	所属	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会精神保健研究部
連絡先 (電話・E-mail)	奥村泰之 042-341-2712 (6258) yokumura@blue.zero.jp		
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会 心理・医学系研究者のためのデータ解析環境 R による統計学の研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) <名簿登録者のうち、会員・非会員の把握人数></p> <p>会員 11名 (うち認定心理士 1名) 非会員 21名 (うち認定心理士 2名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>【実施内容】</p> <p>(1) 本研究会は、研究報告の質 (reporting quality) 向上のための統計学の勉強会である。</p> <p>(2) 平成 24 年度は、2 時間 50 分のオープン形式の研究集会を東京医科歯科大学にて、5 回開催した。</p> <p>(3) 研究会の内容は、第 5 回は重回帰分析 (2012/4/7)、第 6 回は生存時間分析 (2012/6/16)、第 7 回はメタ・アナリシス (2012/8/25)、第 8 回は傾向スコア分析 (2012/12/8)、第 9 回は診断精度の分析 (2013/3/23) であった。</p> <p>(4) いずれの回も、参加定員 25 名を満たしており、延べ 125 名以上の研究者が参加した。</p> <p>(5) 研究会の内容の抜粋は、オンライン公開 (http://blue.zero.jp/yokumura/workshop.html) しており、その一部は、配付資料の完全版を公開している。</p> <p>(6) オープン形式であるため、各回の日本心理学会の会員・非会員の内訳は、不明であった。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 参加者の所属施設は多様であり、43 施設の職員の研究者が参加した。</p> <p>(2) 参加者の多くは関東地方の研究者であるが、沖縄県や広島県など、</p>		

かなり遠方の研究者も参加するなど、強い集客力があつた。

- (3) 研究会は事前登録制であるが、研究会開催の公示後、7日以内に定員を達成するほど、需要の高まりがみられた。
- (4) 本年度の講師の枠は15枠であつたが、14名の講師が無償で発表を担当した。
- (5) 研究会の意義等を広く伝えるために、2012年12月1日(土)に開催された、2012年度統計数理研究所共同研究集会「データ解析環境Rの整備と利用」で本研究会の活動報告を行った。

【将来計画】

- (1) 現状の助成金額では、開催にあたる事務処理等の協力者2名分の謝金の支払いが不可能であるため、研究会の参加者から参加費を徴収することを決定した。助成額の引き上げを要求したい。
- (2) 平成25年度は5回の開催を予定している。
- (3) 1回あたりの開催時間を延長することを決定した。
- (4) 定例研究会(3時間5分)の他に、特別枠の研究会(4時間25分)を実施することを決定した。
- (5) 定例研究会は、定員25名では需要を満たせないため、定員を30名に引き上げる。特別枠の研究会の定員は、45名とする。
- (6) 日本心理学会第77回大会にて、本研究会から派生したワークショップを開催することが決定した。
- (7) 引き続き、より良い研究を国際的に発信していくための、人的基盤を作る。